

平成29年度第3回大人のためのブックトークを開催しました

平成29年9月16日（土）、今年度3回目の「大人のためのブックトーク」を開催しました。生憎の天気でしたが、たくさんの方にご参加いただきました。

小林昌廣 IAMAS 教授によるブックトーク



<当日紹介された本>

「アルカイダから古文書を守った図書館員」

ジョシュア・ハマー著 梶山あゆみ訳

紀伊國屋書店（2017年）

学術都市として栄えたマリには、各家庭が代々守ってきた貴重な文書が多数存在していた。散逸を防ぐため図書館へと集められたものの、その地は間もなくテロリストの脅威に晒されることに……。焚書を免れるために活躍した図書館員を描いたノンフィクション。

「都市と野生の思考」

鷲田清一著 山極寿一著

集英社インターナショナル（2017年）

ゴリラの話をしていてもゴリラが出てこない。何故ならゴリラ視点で話しているから。そんなゴリラ研究の第一人者と哲学者、二人の大学の長による知のコラボレーションが楽しめる一冊。

「孤高の祈り ―ギリシャ正教の聖山アトス―」

中西裕人著 新潮社（2017年）

ギリシャ正教の聖地アトスは女人禁制で唯一許されている例外は猫の雌のみ。男性でも巡礼者でないと立ち入ることができない土地。謎に包まれた土地で生きる修道士と風景を知ることができる、美しい写真集。

岐阜県図書館 総井淳子司書によるおすすめ本の紹介



「飛騨匠物語」

六樹園飯盛著 葛飾北斎画

角丸屋甚助刊（1809年）

「飛騨の顔」

『定本坂口安吾全集 第5巻』所収

坂口安吾 冬樹社（1976年）

○感想等

- ・前回のトークで全く今まで親しみのない分野の本の紹介を大変興味深く聞かせていただき、とても有意義でした。それで今回もぜひと参加しました。
- ・図書館員の方のお話は岐阜への愛があふれていて、本の紹介も興味を掻き立てられるもので面白かったです。読みたくなりました。小林さんのお話も、大変博識で、刺激を受けました。普段読まないジャンルの本への世界が広がりました。
- ・多方面にわたっての本のお話は面白い。普通は自分の好きなジャンルで選ぶからトークであった本をまた読んでみたいと思います。館内の多方面の企画催しに感謝です。
- ・今回初めて参加させていただきました。普段手に取って読まない分野の本でしたので、たいへん勉強になりました。また地元について書かれた図書を紹介していただけると個人的に嬉しいです。
- ・毎回何を紹介してもらえるのか楽しみです。来年度も開いてください。
- ・異文化の中に存在する人間の心を感じ取ることができました。
- ・なかなか手に取らない本を知ることができてとてもよかったです。
- ・小説や漫画などのバージョンもあったらもっと楽しくなりそうだと感じました。色々なお話が聞けて来てよかったです。
- ・一冊の本の内容をとても興味深くご紹介してくださり、読んでみたいと思いました。トークがとてもお上手で聴いていても飽きませんでした。ありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、とても面白かったです。また参加してみたいです。